

三条北ロータリークラブ週報



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会日 2011. 9. 27 累計 No.1192 当年 No.12

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP:<http://www.sanjo-nrc.org> AD:north@sanjo-nrc.org

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会

国際ロータリー会長:カルヤン・パネルジー
(インド・グジャラート)
地区ガバナー:石本隆太郎 (新潟RC)

三条北RC 会長:星野 義男

三条北RC 幹事:石川 一昭

三条北RC SAA:丸山 勝

■出席状況

・本日の出席:67名中37名

・先々週の出席率:67名中53名
79. 10% (前年同期72. 86%)

■本日の行事:

「新会員入会式」

「IM報告会」

■先週のメイクアップ:(敬称略)

9月22日三条東RCへ 青柳康博
石川友意、本間建雄美
山崎 勲、浅野潤一郎

24日第四分区IM 中條耕二

阿部勝子、石川勝行、石川一昭
石黒隆夫、今井克義、大野新吉
大橋政雄、岡田 健、岡田大介
落合益夫、柄沢憲司、金子太一郎
小林繁男、佐藤義英、渋谷義徳
武田恒夫、羽賀一真、馬場直次郎
早川瀧雄、坂内康男、湊岡 茂
星野義男、本間建雄美、丸山達夫
丸山 勝、山中 正、山本 賢
米山キクエ、米山忠俊

26日指名委員会

樋口金占、今井克義、山上茂夫
大野新吉、米山忠俊、落合益夫
佐藤義英、山崎 勲、木宮 隆
梨木建夫、斎藤 正、石川友意
小林繁男、早川瀧雄、星野義男
石川一昭



会長挨拶:星野 義男会長



皆さんこんにちは

私の年度になって2人目の入会式ができることを嬉しく思っております。

ぴかぴかの好青年、佐藤伸一さんです。

佐藤さんとは、何回か食事をし、お話ししましたが、本当にまじめな好青年で、私が一目惚れをしまして、是非三条北クラブに入会して頂きたいとお誘いしました。快く仲間にお入りいただき、本日入会式ができることになりました。皆さんからも絶大なるご支援を頂きたいと思っております。続いて1・2名の入会も予定しています。我がクラブにも爽風が吹き、マンネリの防止に貢献してもらえたらと思っております。新しい会員を待っているわけですので皆さんご協力よろしくお願ひします。

佐藤伸一さんご活躍期待しております。

ありがとうございました。

幹事報告:石川一昭幹事



・2560地区ローターアクト委員長より
第42回地区年次大会のご案内

日時 平成23年11月12日(土) 13:00~

会場 ANAクラウンプラザホテル新潟

新会員入会式 プロフィール

佐藤 伸一:(有)ケンオーデリバリー 取締役課長

事業内容:運送業

会社住所:三条市大島4662-1

TEL:0256-34-2266

FAX:0256-34-1027

家族:妻・長女

「よろしくお願ひ
します」との初々しい挨拶がありました。



■ロータリー財団BOX：27日現在累計103,000円

星野 義男君 新会員の入会式を記念して!!

石川 一昭君 BOXに協力、佐藤伸一さんようこそ!!

丸山 勝君 同上

*佐藤伸一さんの入会を歓迎して皆さんから10&3にご協力頂きました。

■米山奨学BOX：27日現在累計103,000円

本間建雄美君 米山奨学委員長に協力。

青木 省一君 委員として協力

米山 忠俊君 第4分区のIMが開催され出席しました。山田AGやホストの見附RCの皆様から歓迎を受け有意義ですばらしいIMでした。新会員の佐藤さん入会おめでとうございます。

*次週は「米山月間です」地区委員長と米山奨学生の出席を予定しております。

「日本に来て驚いたこと」という題でスピーチして貰いますのでよろしくお願い致します。



■ニコニコBOX：27日現在累計243,000円

梨木 建夫君 私が先に逝くつもりが母に先にいかれました。私の母、故梨木文子の葬儀に際し沢山のご厚情を頂きました事を深く感謝し謹んでお礼申し上げます。ありがとうございました。

星野 義男君 青年会員の入会です。今後のご活躍を期待します。まずは楽しんでください。

笹原 壯玄君 秋晴れの日ですが、新会員の入会という晴れの日に対応しい日となりましたね。

石川 一昭君 佐藤伸一さんようこそ、北ロータリークラブへお待ち致しておりました。

加藤 實君 久しぶりです。落合さん宜しく頼みます。佐藤さん、入会を歓迎します。

落合 益夫君 佐藤伸一さん入会を歓迎します。ニコニコにご協力感謝します。



*8月のコメント賞は梨木建夫会員です。

本日の行事：「IM報告会」

平成23年9月24日 於：ホテルつるや ホストクラブ：見附RC

星野 義男会長

秋晴の好日に恵まれ、4RCで2台の大型バスで出発しました。見附会場のつるやの3階で開催されました。三条北クラブは1番多数の30名の出席で実行委員会の方々から大変喜んで頂いたように聞きました。今年度のIMは各クラブの発表等はなく、長岡ロータリークラブの鈴木重壺ガバナーエレクトの講演で会を締めました。

懇親会は獅子舞等で縁起良く盛り上がりました。帰りのおみやげは見附のニットでカシミヤのチョッキを戴いて帰りました。

又々二次会は三条東クラブと合同でおゝ乃さんと盛り上がり、三次会は本寺小路のあかり物語に参加し、有意義な親睦会で帰宅は午前様でした。

坂内 康男会員



三条市役所前PM1：15出発

PM2：30予定通り開会。来賓として石本ガバナーから挨拶の後「語り継ごうロータリーの『奉仕』の心」のテーマ説明があり、「震災復興支援から学んだ事～奉仕は怒の心」として鈴木重壺ガバナーエレクトの記念講演がありました。

・震災のすごさとロータリー活動の援助仕組等の説明

・災害からの教訓等の話で大変共鳴しました。

当クラブの中條バスターガバナーの講評がありました。見附クラブ少人数なのに大変素晴らしいプログラムにエールを贈り、ロータリー財団の今後の方針等を説明され、さすがわかりやすいお話でした。次年度開催クラブ（巻RC）の挨拶の後懇親会へ。

懇親会でのアトラクションとして見附RCメンバー5人で地元民族芸能獅子舞が披露されました。壇上から獅子が落ちるといふアクシデントがありましたが、各テーブルを回り厄祓いをして貰いました。石本ガバナーから見附ロータリーのメンバーと次年度ホストクラブのメンバーにエールが贈られました。

帰りのバスの中では石川幹事より二次会の話やら東RCとの野球の試合の話で盛り上がっていました。二次会は饞心亭 おゝ乃にて東RCと合同で開催。石川幹事、大変ご苦労様でした。

羽賀 一真会員 「参加しての感想」



IMに参加した感想を述べよとのことですが、おそらくIMに参加した人はみなさん一番印象に残った言葉は同じ「怒(じょ)」の文字だと思います。

ガバナーエレクトの講話が、「災害対応は『怒(じょ)』の心」という趣旨の講話でした。

ガバナーエレクトご自身がおっしゃっていたように、「口」を「又」に変えると「怒(いかり)」ですが(笑)、ということで、会場に掲げられた講話の表題を

最初見た時、ちょっとびっくりしました。

「怒(じょ)」とは？

Yahoo辞書で再度調べたところ、「他人の立場や心情を察すること。また、その気持ち。思いやり。」と出てきました。パソコンの変換でも「じょ」で一発で出ました。

ということで、またひとつ難しい漢字を覚えました。

中越地震の時のDVD上映時に音声が出ないというトラブルがあり、リハーサルしてないのかな、という意見も聞きましたが、急きょガバナーエレクトの肉声解説でロータリーらしい広い心で切り抜けました。

仏教とか宗教の話や文化の話は改めて勉強になりました。

あと、「災害発生時には、いざとなったらロータリーは行政よりも力を発揮できるのです」とのお話でしたが、ガバナーエレクトもおっしゃるように、ロータリーは単年度制なので、いつ襲って来るか、わからない災害に本当に対応するのなら、ロータリーで防災訓練を毎年やるくらいでないちょっと難しいのでは？と思います。

今回のIMは、3連休の2日目であればもっと参加者もいたかもしれませんが、第4分区11クラブが一斉に集まりお酒も飲んで懇親を深める機会は、ありそうでなかなかありません。他クラブにも元々の知り合いが入っていて「あ、久しぶり。最近どう？」と声をかけあういい機会ですし、これからもこういう会があればまた参加したいと思います。

山中 正会員 「IMの開催に思うこと・・・」



先般、石川幹事から「来る9月27日の例会でI・Mに参加した旨の報告をするように」との連絡を頂戴しました。2年前、米山AGの時、私がIMの実行委員長の名を頂戴し米山AGのご指導のもと、クラブ会員の多くの皆様からご協力を賜り無事IMを開催する事が出来ました。その時、石川幹事には会場の中央公民館のステージでソングリーダーとしてご登壇頂きました。その時のスタイルは横田さんが作ってくれた大きな蝶ネクタイを襟につけて頂きました。石川さんの

登場で会場からは「オー」という声と笑が上がりました。「三条北RCのIMはいつものIMと違う」との印象とインパクトを開会と同時に参加されたロータリアンの皆様から与える事が出来ました。御世話になった石川幹事の要請ですので今回、躊躇なくIMの報告者を御引き受けした次第です。

見附のIMで講演された鈴木重壺ガバナーエレクトのお話の内容は後ほどとして、今回、見附RCがIMを開催するにあたってなぜ、鈴木重壺ガバナーエレクトの講演となったのか？その経緯をお話したいと思います。見附RCの松本IM実行委員長は私と同業の葬儀社の社長です。ある時、「IMの実行委員長になった」旨のお話を伺いました。そして「どのようなIMを開催しようか？」との相談を受けました。これまでのIMの内容は「バストガバナーの講演」「各クラブ会長より各クラブの現況報告」「地区委員会の事業活動について」また「会員増強の為のフォーラム」等が多かったように記憶しております。

そなん中、三条北RCがこれまで主催したIMは画期的なものであった旨をお話しました。2001年、中條AGの時代、羽賀IM実行委員長を中心に開催したIMがその一つです。当時のクラブ

会長は木宮さんでした。木宮会長の意向も強く「ロータリーとネットワーク」をテーマに東北学院大学の赤木助教授から基調講演をして頂きその後、三つの分科会を開催しました。会場はリサーチコアと三条商工会議所を使用しました。過去のIMの常識を越えた、画期的な内容だったと思います。「さすが三条北RCだ」と私は思いました。

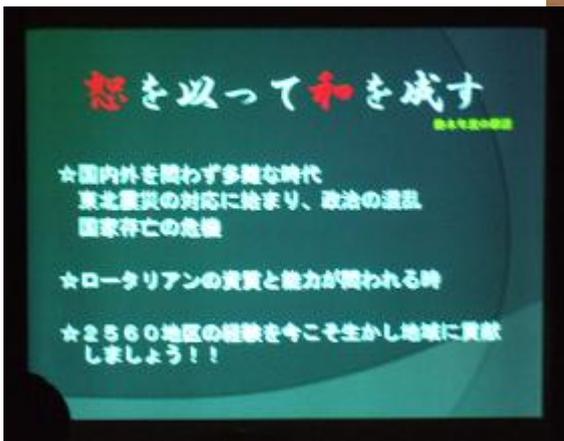
そんな想いもあって2年前、私がIMの実行委員長の時も、これまでにないIMを開催したいと考えました時、米山AGから「職業奉仕に関係したIMが出来ないか？」そんなお話がありました。私達は例会ごとに「四つのテスト」を唱和しています。しかし「四つのテスト」は実際にロータリアン企業の経営に生かされているのか？私は疑問を抱いておりました。そこで、それぞれ違った業種のロータリアン3名から「ロータリーと企業経営」をテーマにご講演頂きました。その際、当クラブの山本先生には大変ご足労をお掛けし、またお世話になりました。講演の後「ロータリーと企業経営を考える」と題して総勢6名でパネルディスカッションを致しました。パネルディスカッションではパネリストの一人である木宮さんにも大変お世話になりました。私はパネルディスカッションの結論として「ロータリーの理念と企業経営。四つのテストは真にロータリアン企業の礎になるのか？」と「2001年開催されたIMでの提言、ロータリーのネットワークの構築をもう一度考えよう」を再度、ロータリアン各位に認識して頂きたいと考えておりました。懇親会も今までに無い形式で開催をさせて頂きました。正直申し上げ、当日の開催まで多くの皆様のご協力を頂きながらも大変苦勞致しました。しかし、ロータリアンは忙しい中を1万円もの登録料を払ってIMにご参加頂く訳ですので「密度の濃いIM」を主催クラブは開催するべきだと思っておりました。

しかし、ロータリーの組織は単年度で終わる為、主催クラブがIMを企画し開催し、問題提起しても、それで終わってしまいます。そして、その後AGもIM実行委員長も一抹の寂しさを感じずるものと思います。そこで、現状の見附RCのメンバー数から見て、手間暇をかけてIMを開催する事は難しいのではないかと松本実行委員長にお話をしました。

私は本年度、職業奉仕委員長を仰せつかっております。かねてより10月の職業奉仕月間に鈴木重壺ガバナーエレクトから当クラブにお出で頂き「震災復興とロータリアンの職業奉仕」をテーマに卓話をお願いしたいと考えておりました。此の事を見附RCの松本IM実行委員長にお話して「鈴木重壺ガバナーエレクトから講演して頂いたらどうか？」を提案しました。3.11の東日本大震災により国難の時代となってしまいました。今なお復興に苦慮しています。鈴木重壺ガバナーエレクトは中越地震の時から2560地区内に於いて唯一「災害復興支援活動や防災活動」に熱心なロータリアンです。東日本大震災で日本国が混乱している時に「ロータリアンとして、企業人として、私達は何を想い、何をすべきか？」「鈴木重壺ガバナーエレクトから中越地震復興の経験を生かし、お話を頂く事はタイムリーな話題ではないか？」と松本実行委員長にお話をしました。鈴木重壺ガバナーエレクトも、もうじきガバナーですから、多くのロータリアンの前で自分の想いを伝える機会が欲しいと思いますので断る事はないと確信しておりました。その結果、鈴木重壺ガバナーエレクトの講演となりました。

そんな経緯もあり10月11日の当クラブの卓話は鈴木重壺ガバナーエレクトではなく丸山常彦地区職業奉仕委員長に変更しお願い致す事となりました。

IMでの鈴木重壺ガバナーエレクトの講演内容は、中越地震の災害復興支援に携わった経験から真実味があり、インパクトのあるお話でした。そして、これからも起こりうる震災対応として「RC独自の組織を創り上げなければならない」と力説されておられました。





10月のお祝い

会 員		誕生日	ご夫人	
斎藤 正	5	外山真智代	1	
山口 龍二	14	神田トモ子	1	
米山キクエ	16	高森登茂子	7	
早川 瀧雄	25	浅野 正子	10	
神田 敬宏	26	石丸ノリ子	16	
		本間 絹枝	30	
		青木 征子	30	
		羽賀 麻美	31	

結婚記念		
山崎 勲・八重子		1
大野 新吉・勝子		10
坂本 勝司・敏子		18
阿部 勝子・藤男		18
高橋 彰雄・淳子		22
小林 繁男・三千世		24
佐藤 弘志・奈緒子		26

Trombone

石黒 隆夫

私の長年続けている趣味の一つトロンボーンについて書かせていただきます。トロンボーンは谷啓が演奏していたことで有名ですが、ジャズだけでなくクラシックなど多くの音楽ジャンルで活躍しています。しかし元々は、教会で賛美歌を演奏するのが起源で他の楽器に比べても特に美しいハーモニーが出せる楽器です。

中学生時代より 40 年近く続けていますが最近の 10 年は、練習時間や本番の日程を合わせる事が難しくなりバンドなど団体に所属していません。そこで現在私がやっている一人でのトロンボーン楽しみ方を紹介します。

まず、トロンボーンのアンサンブル曲（三重奏～八重奏）を録音して完成させます。現在所有している楽器は写真の通り 5 台ですが曲と編成によって使い分け編成分の人数の演奏を重ね録りして曲を完成させます。その録音機が MTR（マルチトラックレコーダー）と呼ばれるもので最初に使った 30 年前頃は、カセットテープ式でしたが、現在は、ハードディスクやコンパクトフラッシュ式で巻き戻しの手間がなくなりメトロノーム機能も搭載され便利になりましたが価格は 10 分の 1 になりました。1 パートだけでは曲になりませんが重ねていくとにより徐々に曲が完成していくところがとても楽しいです。また、同じ奏者ですので音色は統一されますが上手いも下手も全て自己責任です。（そこがいいのですが）

次は、カラオケです。最近では、販売されているソロ楽譜にカラオケ CD が付属する物もありプロの伴奏をバックに気分よく演奏できます。また、夜遅くや漏れる音が気になる場合は、専用の弱音器を楽器に装着すると小声程度の音量になります。そこに ipod やウォークマンを接続すればヘッドホンより伴奏と自分の音がミキシングされて聞こえますので深夜や出張先のホテルでの練習が可能です。時間と場所を選びませんので風呂上りにアルコールを補給しながらほろ酔いでジャズセッションを楽しんでいます。

